

令和4年（2022年）度上期（4月～9月）胆振管内観光入込客数の状況について

令和5年（2023年）2月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和4年（2022年）度上期の観光入込客数は8,268.0千人で、前年度同期（5,110.2千人）と比べて3,157.8千人の増加（前年度同期比161.8%）となり、コロナ禍となった令和2年（2020年）度以降から初の増加となり、コロナ前である令和元年（2019年）度同期と比較すると2,002.8千人の減少（令和元年（2019年）度同期比80.5%）となっております。

令和4年（2022年）度上期は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出はなく、道の旅行需要喚起策である「どうみん割」を東北まで拡大して適用したほか、市町独自の旅行割引制度を利用する者が増加したことと併せて、各地のイベントの再開が入込客数増加の大きな要因と考えられます。

（道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は2,014.1千人（構成比24.4%）で前年度同期から848.4千人の増加（前年度同期比172.8%）、道内観光客は6,253.9千人（構成比75.6%）で前年度同期から2,309.4千人の増加（前年度同期比158.5%）となっております。（資料1）

令和元年（2019年）度同期と比較すると、道内観光客が93.9%まで回復した一方、道外観光客は、55.8%にとどまっています。

（日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は7,147.6千人（構成比86.4%）で前年度同期から2,585.2千人の増加（前年度同期比156.7%）、宿泊客数は1,120.4千人（構成比13.6%）で前年度同期から572.6千人の増加（前年度同期比204.5%）となりました。

宿泊客延べ数は1,233.5千人泊で、前年度同期から606.0千人泊の増加（前年度同期比196.6%）となっております。（資料1）

令和元年（2019年）度同期と比較すると、日帰り客が81.4%、宿泊客が75.5%となっており、回復傾向が見られます。

【資料1】令和4年（2022年）度上期胆振管内観光入込客数内訳

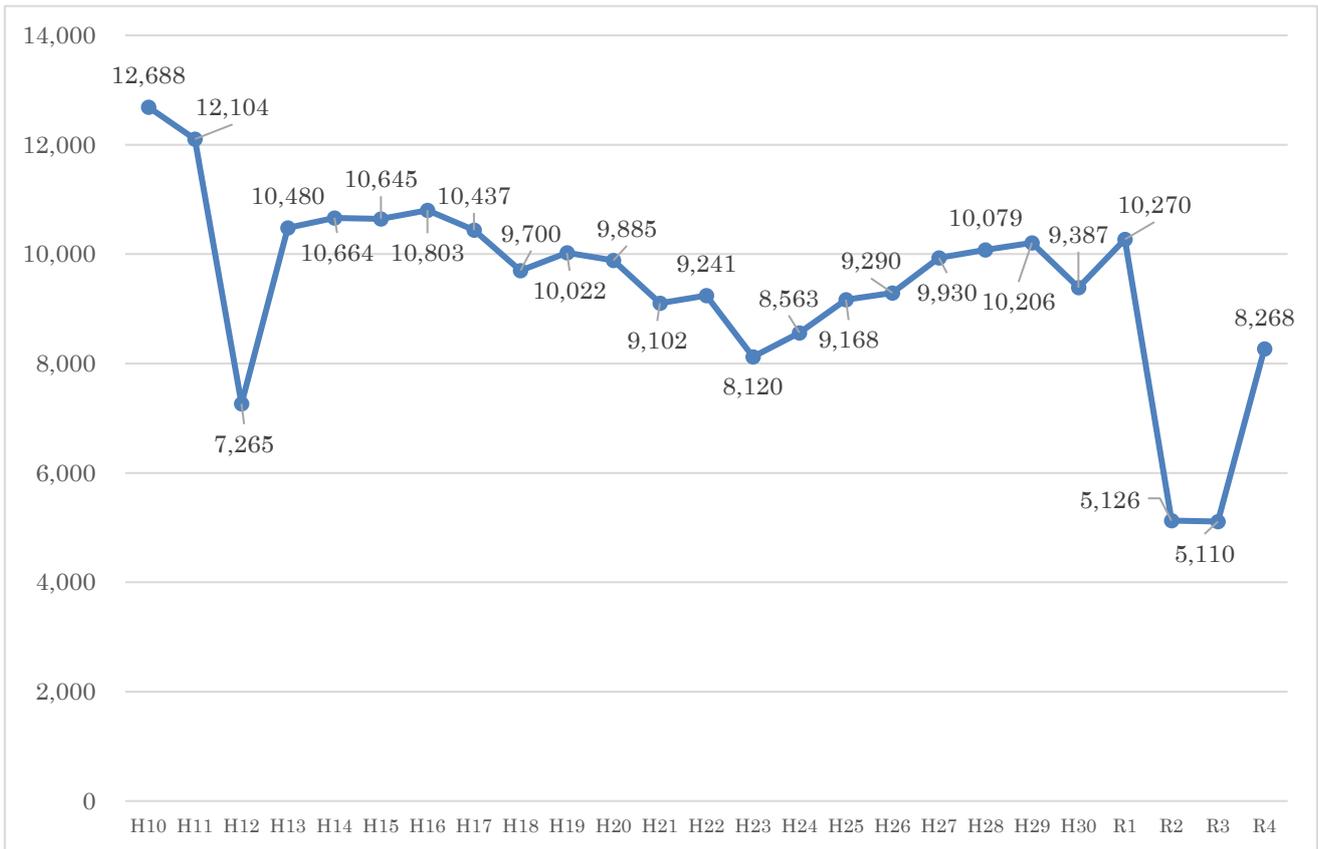
（単位：千人、千人泊）

区 分		上期観光入込客数		前年度同期比	前年度上期からの増減数	令和元年度(コロナ前)	
			構成比				同期比
道内・道外別	道外客	2,014.1	24.4%	172.8%	848.4	3,610.4	55.8%
	道内客	6,253.9	75.6%	158.5%	2,309.4	6,660.4	93.9%
日帰り・宿泊別	日帰り客	7,147.6	86.4%	156.7%	2,585.2	8,785.9	81.4%
	宿泊客	1,120.4	13.6%	204.5%	572.6	1,484.9	75.5%
入込総数(千人)		8,268.0	100.0%	161.8%	3,157.8	10,270.8	80.5%
宿泊客延べ数(千人泊)		1,233.5	—	196.6%	606.0	1,612.8	76.5%

参考として、平成10年度からの観光入込客数の推移【参考資料1】、令和元年度からの観光入込客数の月別推移【参考資料2】、令和2年度からの3カ年における観光入込客数の月別の推移【参考資料3-1】（道外客・道内客別）、【参考資料3-2】（日帰り客・宿泊客別）を添付しています。

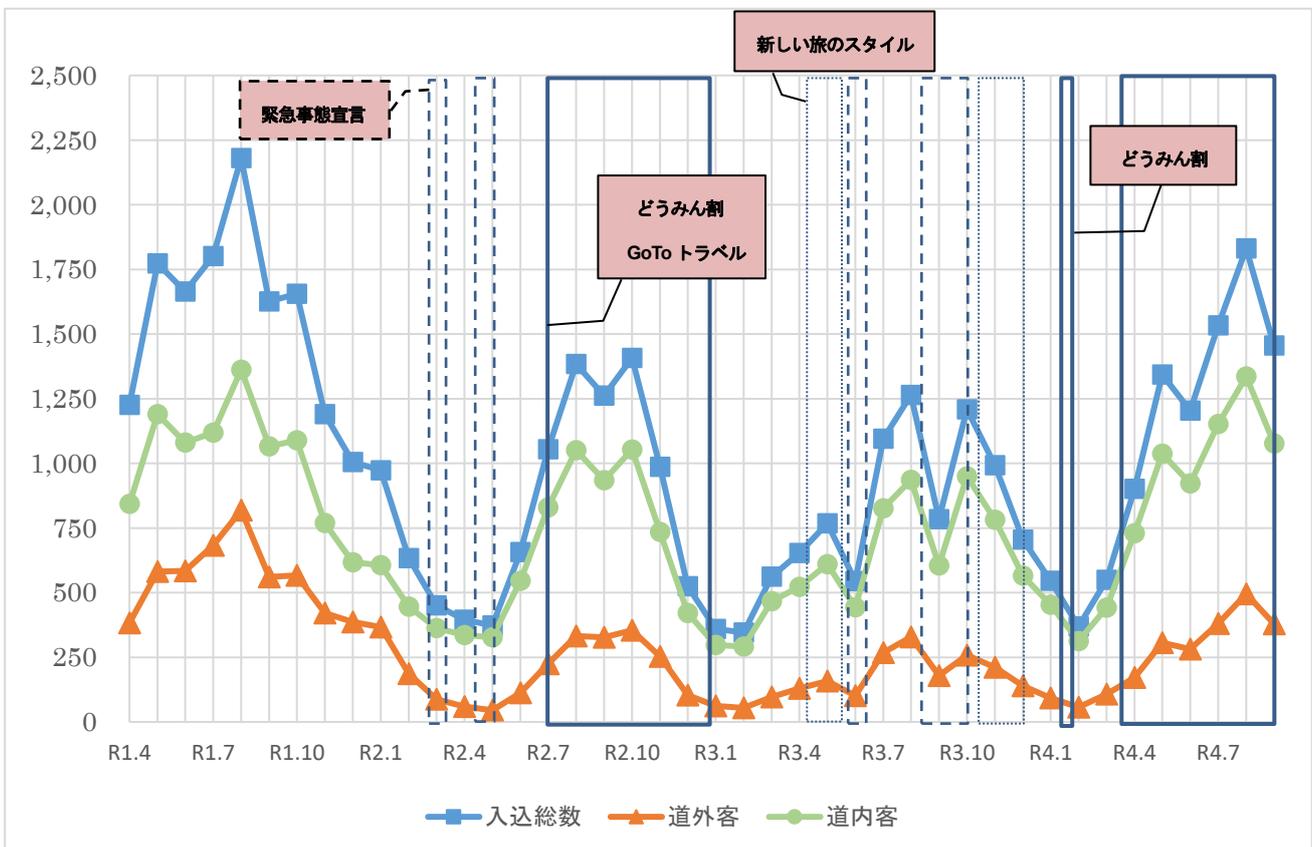
【参考資料1】胆振管内観光入込客数の推移（H10年(1998年)度～）

（単位：千人）

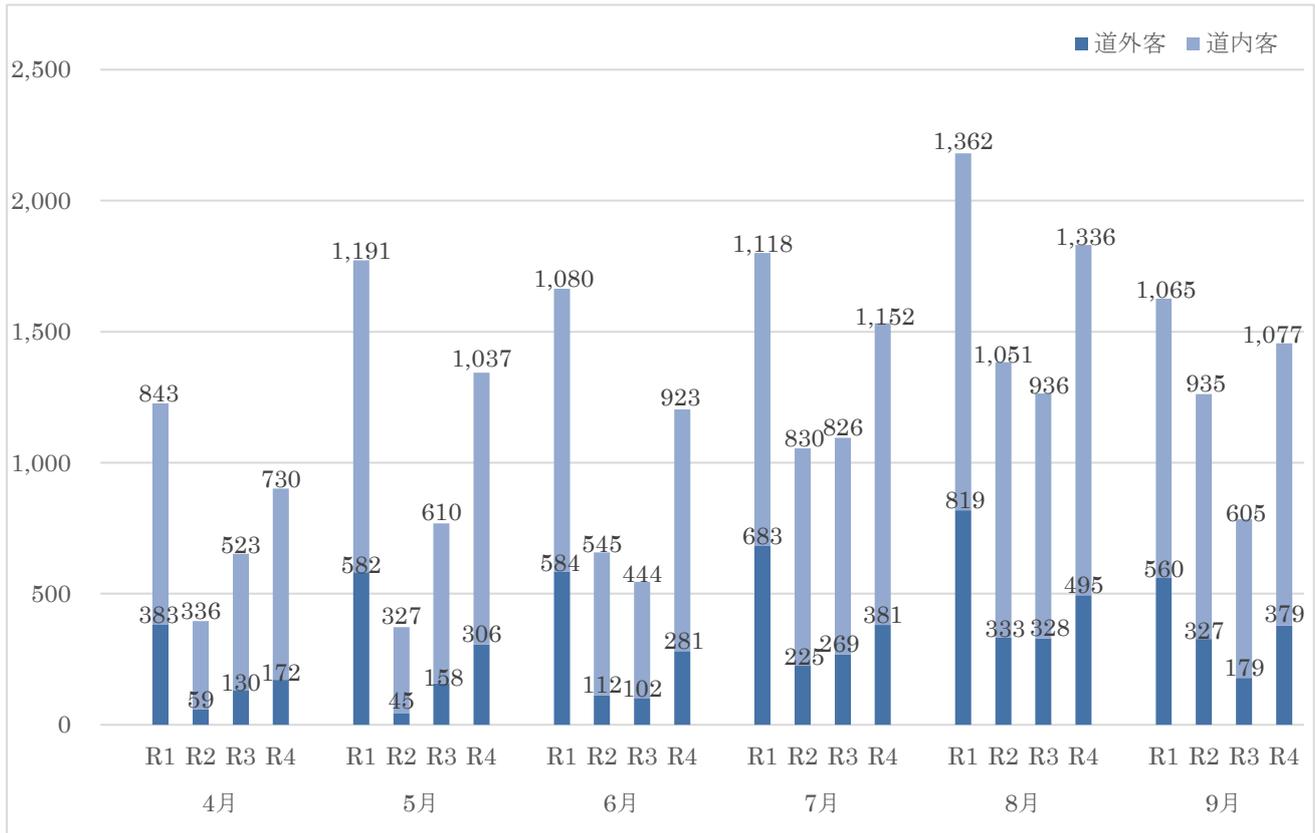


【参考資料2】胆振管内観光入込客数の推移（令和元年(2019年)度～）

（単位：千人）



【参考資料3-1】胆振管内観光入込客数 月別の推移（道外客・道内客別）（単位：千人）



【参考資料3-2】胆振管内観光入込客数 月別の推移（日帰り客・宿泊客別）（単位：千人）

